



環境農林水産常任委員会で 中野つよし議員が質問!!

茨木市選出

2月定例会において環境農林水産常任委員会が開かれ、私、中野つよしは大阪府の新たな『農政アクションプラン』に対して主に質疑を行い、環境農林水産部の新年度予算案や取り組みについて

- ① おおさか農政アクションプランについて
- ② 大阪エコ農産物について
- ③ 6次産業化の推進に向けたマーケティング支援について
- ④ 大阪湾漁場環境整備事業について
- ⑤ 下水熱・地中熱利用の促進について

の5点について質問させていただきました。



大阪エコ農産物の普及促進を!

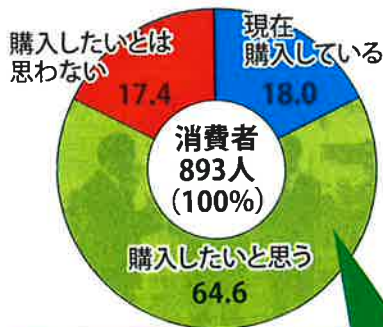
<p>エコ農産物 大阪府認証</p> <p>農薬・化学肥料 【5割減】</p>	<p>ひと手間かけた 安全・安心の印</p> <p>エコ農産物 大阪府認証</p> <p>農薬・化学肥料 【不使用】</p>
---	--



▲都市農業を視察(H28年8月)

▲エコ農産物ロゴ(5割減と不使用2種類)

オーガニック農産物等の購入の意向



「購入している。購入したいと思う。」と応えた消費者が80%を超える。

農林水産省消費者モニター調査より H28.2公表分

エコ農産物についての府の取り組みを確認。

この4月から府民認知度の高い大阪産(もん)として広く府民にPRするため、ロゴマークを大阪産(もん)と一体化したものにリニューアルします(上のマーク)。また、これまでの農薬・化学肥料が慣行の5割以下の栽培に加え、新たに、栽培期間中に農薬と化学肥料を使用しない「不使用」の認証区分を創設。

昨年2月に農林水産省が実施した「消費者モニターへのアンケート」では、「有機農産物」や「農薬・化学肥料を半分以下に抑えて栽培した農産物」いわゆるオーガニック農産物を「購入している。購入したいと思う。」と答えた消費者が80%以上のぼるが、大阪のエコ農産物は、あまり知られていないと指摘。PR活動の促進を求めました。合わせて消費者が安心できる品質管理への取組強化を訴えました。

府は、農薬の適正使用や衛生管理、環境保全の取組みなどの項目を記載した「農業生産管理チェックシート」を導入し、農業者自らが実施状況を点検する取り組みを導入すると答弁。

エコ農産物の推進を通じて農業振興の活性化、品質強化を図ってまいります。

地域の声をカタチに! 安全・安心の街づくり



原簿が安心して公園へ行けるよう横断歩道を設置



事故が多い交差点に信号機を設置

中野つよしプロフィール

昭和47年5月31日生まれ 44歳
 茨木市大正町在住
 郡山小学校卒業、豊川中学校卒業、
 大阪府立摂津高校卒業、
 大阪工業大学工学部土木工学科卒業
 府環境農林水産常任委員会副委員長
 一級土木施工管理技士
 大阪工業大学学園校友会茨木支部青年部長
 茨木市グラウンドゴルフ連盟顧問、
 妻、二女(小6、小4)の4人家族



facebook